

「教育評価活動の優劣が生徒の成長に大に関わっている」という高いテンションが貴校にあるか？

今、学校が検討す(見直す)べき教育評価は山のようにある。
例えば、従来からの定期テストや模擬テストや学校評価に加え、
パフォーマンス評価、ポートフォリオ評価、ルーブリック評価、
などこれまで取り組まれてこなかった概念の重要性が指摘されている。

今回テーマ：教育評価活動の『新研究』と『絞り込み』と『注力』について
副題：生徒の成長を一層高める教育評価活動、その絞り込みの切り口は何か？

学校改革の努力が報われにくいのは 評価活動が進化(深化)していないことにある

『前進→前進』になっていないか。『検証→前進』のひと手間が遠回りのようで実効性は高い。
『定期テスト』『模擬テスト』『学校評価』などの従来からの評価活動の意味は今後変わるのか。
『パフォーマンス評価』『ポートフォリオ評価』『ルーブリック評価』などの特徴・狙い・期待される効果とは。

将来どのような学校が求められるのかの答えが容易には見つからない昨今。私学の価値を高めていくのに、『教育評価(検証活動)』が重要な鍵になるのではないかというスタンスで今回のセミナーは企画されました。教育の実践や改善には熱心な学校も、その実践や改善の検証活動には少し距離をおいている、もしくは、自信のないまま検証が行われているところが多いというのが現状ではないでしょうか。今回の『教育評価の総整理』は**中教審の答申にも示されたカリキュラムマネジメント**の概念を参考にする際の重要なポイントにもなるかと思えます。学校改善にご関心のある先生方であれば、管理職や現場教員であることを問わず、どなたでもご参考いただける内容です。万象お繰り合わせの上、ご臨席賜りますようお願い申し上げます。



株式会社ヒューマン・リンク
TEL:075-212-7015
FAX:075-212-7016
京都市中京区泉正寺町 328

- 【教育改善の方向性】 中教審答申には、**教科横断型、生徒主体性、教員全員のつながり**が指摘されています。
- 【あるべき教育評価像】 **人事異動のない私学**は改善の上に改善ができ、公立にはないアドバンテージです。
その活動の**精度を高める鍵**を握るのが『教育評価(検証活動)』です。
- 【従来評価の再評価】 『定期テストや模擬テスト』などの従来活動の長所の再評価やその見直しをします。
- 【新概念の新規導入】 『ポートフォリオ評価』などの新概念の特徴や狙いや期待される効果の紹介・確認をします。
- 【学校全体の評価】 従来からの学校評価と新しい概念を **総括的、目的的に** 見直します。
- 【21世紀学力の評価】 踏み出す学校とそうでない学校に分かれています。が、やはり将来に必要で遅れをとると、立ち行かなくなります。だから、学内で先行する先生が今時間を費やして検討しましょう。
- 【授業・学級の評価】 **アクティブラーニングや生徒主体のクラス運営の重要度**が高まります。その評価は重要です。
- 【生徒募集の評価】 見直しの**ポイントを外している**学校が多数です。**見直しの切り口**がすべてをわけると思われます。

セミナー概要

大阪会場	11月27日(月)	大阪私学会館	JR線「大阪城北詰」駅 徒歩3分
東京会場	11月28日(火)	アルカディア市ヶ谷	各線「市ヶ谷」駅 徒歩2分

時間は、いずれの日程とも、14:00~16:30(受付開始13:45)。講師は、稲葉人司(弊社代表取締役)
参加費はお一人様 10,000円(税込)でございます。当日に会場受付にてお支払い手続きください。

お申込み

参加ご希望の方は下記の「FAX 申込書」をご返信下さい。弊社にて受付確認後会場地図をお送り致します。

【11月 私学経営セミナー FAX申込書】

本申込書は FAXにて 0120-075-347 まで

大阪会場 11月27日(月) 東京会場 11月28日(火)

貴校名	TEL;	FAX	
ご参加者	お役職;	MAIL	
ご参加者	お役職;	MAIL	

☆3名様以上のお申込みは恐れ入りますがコピーしてご使用ください。